



あなたの町から、世界の町へ。
ファミリーマート



第29期 中間報告書 2009年3月1日 ▶ 2009年8月31日

あなたと、コンビに、

FamilyMart



株主の皆さま、こんにちは。日頃よりファミリーマートをご支援賜りまして、誠にありがとうございます。

ここに、当社第29期中間報告書（2009年3月1日から同年8月31日まで）をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2009年11月
代表取締役社長 上田 準二

第2四半期までの状況 (2009年3月から同年8月まで)

当第2四半期累計期間は、依然として厳しい雇用情勢や所得環境の悪化により、消費環境は低迷した状況が継続しております。特に第2四半期においては昨年の猛暑から一転、全国的な気温低下や長梅雨により、大変厳しい経営環境となりました。

その結果、夏型商材の販売不振や、お客さまの節約志向を受けた中食や日用品の伸び悩みにより、既存店日商伸び率は第2四半期累計で3年ぶりのマイナスとなりました。しかし、このような中でもお客さまの支持の表れである客数の増加基調は継続しており、全店客数はtaspo効果や猛暑の影響がなかった2年前と比較すると80人強増加、前年同期に対しましても20人強の増加となっております。ファミリーマートの支持基盤には確たるものがあり、当第2四半期累計の業績は想定を超える外部要因の影響を強く受けたものと考えております。

したがって、このような厳しい環境だからこそ、フランチャイズ本部の責務として販促面、CRM関連費用をはじめ、加盟店支援に係る経費を大きく積み増しました。一方で、全社を挙げたコスト構造改革が進捗し、着実に本部コストを削減いたしました。

また、10月1日に公表しました通り、繰延税金資産の一部を取り崩し、単体で37億円を法人税等調整額に計上しております。

出店面では、2009年8月末現在、国内エリアフランチャイザー3社を含めた国内総店舗数は7,604店舗となりました。海外エリアフランチャイザーは、台湾、韓国、タイ、中国およびアメリカにおいて、合わせて7,636店舗となり、海外店舗数が国内店舗数を逆転。チェーン総店舗数は15,240店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、営業総収入143,381百万円、営業利益19,631百万円、経常利益20,949百万円、四半期純利益9,863百万円となりました。なお、中間配当金につきましては、当初計画通り一株あたり35円とさせていただきます。



第3四半期以降の取組み

第3四半期以降も、ますます厳しい消費環境が続くと認識しております。私たちはこのような時こそ奇策に頼るのではなく、基本に立ち返りそれを徹底的にやり続けてまいります。

単なる低価格路線とは一線を画し、お客さまがいつでも欲しい商品を欲しい数量お買い求めいただける、コンビニエンスストアのあるべき姿を追求してまいります。その中で、価格と価値のバランスが取れた品揃え、お客さまとのコミュニケーションを大切にし、居心地の良さ、そして社会インフラとしての機能を高めながら、地域のお客さまのご支持を獲得してまいります。

例えば商品面では、業界に先駆けて本格展開したチルド米飯は、9月に全店導入を完了いたしました。チルドにすることで、海鮮食材や生野菜等、これまでの温度管理では使用できなかった素材を使い、また保存料もさらに減らし、従来のコンビニではご提供できなかった質の高さ、おいしさを目指した商品です。今後はさらにその品揃えの幅を広げながら、そのおいしさでコンビニ弁当のイメージを刷新してまいります。

また、ファミマTカードでは、「ロイヤルカスタマー優遇システ

ム」をスタート。業界初の試みとして従来の一律的な販促からお客さまの属性・購買状況に焦点を当てたアプローチを行ってまいります。電子マネー決済では、10月より主婦層や中高年層あるいは地方圏に強い「WAON」の取り扱いを開始し、決済手段の選択肢を多様化させてまいります。これらお客さまの誘引策によって、客数のペースをさらに引き上げ加盟店をバックアップしてまいります。

このような代表的な施策も、私たち本部と加盟店が一体となって取り組むことで、お客さまに伝わっていくものだと思っております。「ファミリーマートらしさ推進活動」も5年目に入り、加盟店にまでこの輪を広げて2年目となりました。

今春以降、自らの目指すお店の姿を、加盟店同士、そして本部と一緒に語り合う「らしさワークショップ」を全国で開催、延べ4,500人が参加しました。感動体験や成功事例、あるいは苦労話の中から気づいたことを、早速、それぞれのお店に持ち帰り実践しております。第3四半期以降も継続的に開催し、加盟店・本部との絆の深さや一体感を大事にして、この難局を乗り切ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。



お客さまに選ばれ続けるチェーンを目指して

「ファミリーマートらしさ推進活動」の展開

ファミリーマートでは、社会構造や消費環境が大きく変化する時代に、お客さまから選ばれ続けるチェーンを目指し、ホスピタリティあふれる行動を通じて「気軽にこころの豊かさ」をお客さまに感じていただくため、「ファミリーマートらしさ推進活動」を行っております。ここでは、その具体的な取組みをご紹介します。

「ファミリーマートらしさ推進活動」

「ファミリーマートらしさ推進活動」は、店舗での接客だけではなく、商品づくりや社会貢献・環境活動などを含むすべての企業活動を通じ、「気軽にこころの豊かさ」の具現化を目指す取組みです。さらに、ご賛同いただいた取引先も加え、その活動の輪を広げております。



ときには社長自ら話し合いに参加し、担当者と意見を交えながら「ファミリーマートらしさ推進活動」に取り組んでおります。

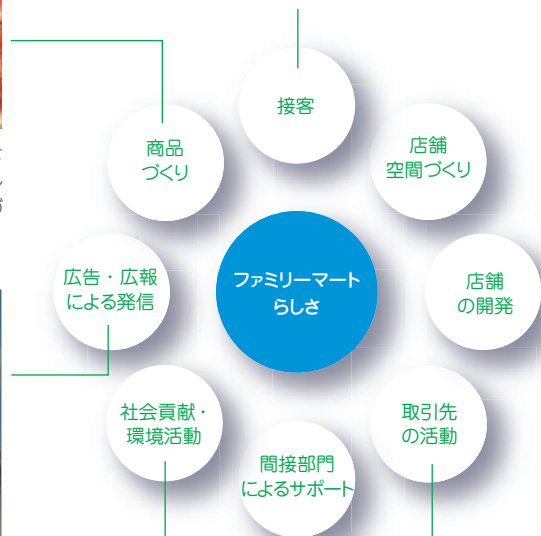


「気軽にこころの豊かさ」を感じていただくため、一貫したコンセプトに基づく商品づくりを行っております。



企業姿勢や「親しみやすさ」「家族的」など、目指すべき世界観を広告や広報活動により発信しております。

お客さまの「感動」につながるマニュアルを超えたちょっとした気遣い、おもてなしを心がけております。



物流会社や製造工場など、取引先でも「ファミリーマートらしさ推進活動」の輪を広げております。



流通・小売業界では初めて「ベルマーク運動」へ参加いたしました。



「ただいま〜!」の笑顔が見たいから。
ファミリーマートはこどもたちを応援しています。

「ファミリーマートらしさ」をさらに推進していくため、当期の社会貢献テーマを「こどもを応援するファミリーマート」といたしました。ファミリーマートは、家族、地域社会、未来の社会を応援してまいります。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

店頭で行っている「ファミリーマート夢の掛け橋募金」の寄付先の1つである社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、世界中のこども支援のため、学校建設や被災者支援などに取り組む団体です。ファミリーマートはその活動に賛同し、国際協力やこどもの権利について理解を深めることを目的としたこどもを対象とする参加型学習プログラムである「スピーキングアウト」を支援しております。

セーフティステーション

社団法人日本フランチャイズチェーン協会の会員として、安全・安心なまちづくりと青少年の健全育成を目的としたセーフティステーション活動に取り組んでおります。

ベルマーク運動

ベルマーク運動の理念に賛同し、2008年4月よりおむすび全品にベルマークを付け、お客さまとともに地域貢献活動に取り組んでおります。

森の“聞き書き甲子園”

日本全国から選ばれた高校生100人が「森の名手・名人」を訪ねて知恵や技術、人生について「聞き書き」し、記録する活動を応援しております。

ありがとうの手紙^{てがみ}コンテスト

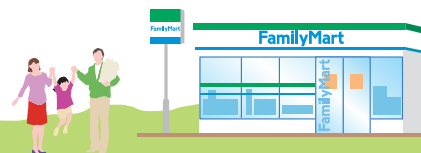


ありがとうの手紙コンテスト

小学生を対象に「ありがとうの手紙」を書くことを通じて、感謝の気持ちを伝えることの大切さや文字や言葉によるコミュニケーションの大切さを知ってもらい、表現力やこころの豊かさを育むお手伝いをしております。

ファミリーサッカースクール

朝日新聞社主催の「ファミリーサッカースクール」に特別協賛しております。コーチには元日本代表選手も参加。全国21会場でたくさんの親子にご参加いただいております。



世界に広がるファミリーマート 国内外15,000店舗を達成

ファミリーマートは、三大都市圏と地方中心都市を中心に成長性の高い店舗の出店を進める一方、ニューマーケットへの積極的な出店を続けております。また、海外においても出店を推進した結果、2009年7月に国内外15,000店舗を達成いたしました。

海外店舗数が国内店舗数を上回る

海外展開では、日本で培ったノウハウをベースに売り場面積や品揃えなど、現地に合わせて最適化をはかりながら、ビジネスモデルを構築しております。1988年の台湾進出を皮切りに、韓国、タイ、中国、アメリカと出店地域を拡大してまいりました。日本発祥のコンビニエンスストアとしては海外で最も多い店舗数を有し、2009年8月には海外店舗数が国内店舗数を上回りました。今後は、世界同時展開の共同キャンペーンやスケールメリットを活かした共同調達など、グローバルチェーンならではの施策を実施してまいります。そして、今後も「グローバル2万店」を目指し、さらに海外展開を加速させてまいります。



韓国
4,452店



中国
248店

日本
7,604店

タイ
548店

台湾
2,374店



■ 国内プロパー ■ 国内エリアフランチャイザー ■ 海外エリアフランチャイザー



国内地域別店舗数

●北海道／34	●石川／72	●岡山／83
●青森／28	●福井／93	●広島／158
●岩手／101	●山梨／65	●山口／27
●宮城／198	●長野／36	●徳島／45
●秋田／42	●岐阜／94	●香川／73
●山形／89	●静岡／200	●愛媛／78
●福島／124	●愛知／452	●高知／30
●茨城／156	●三重／121	●福岡／269
●栃木／118	●滋賀／110	●佐賀／51
●群馬／91	●京都／151	●長崎／137
●埼玉／392	●大阪／683	●熊本／98
●千葉／309	●兵庫／289	●大分／64
●東京／1,143	●奈良／49	●宮崎／80
●神奈川／521	●和歌山／64	●鹿児島／207
●新潟／45	●鳥取／31	●沖縄／198
●富山／71	●島根／34	

国内プロパー／7,085

国内エリアフランチャイザー／519



早稲田大学店 (2009年3月開店)



ファミマ!!新宿マリン本館店 (2009年4月開店)

アメリカ
14店

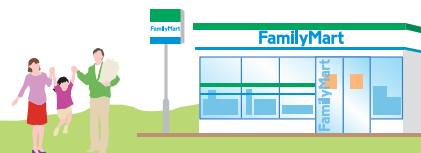
ファミリーマートチェーン店舗数

国内店舗数 7,604店

海外店舗数 7,636店

合計 15,240店

(2009年8月31日現在)



素材や食感などにこだわった商品

ファミリーマートでは、『あじわい Famima Café』『三ツ星パスタ』『できたてファミマキッチン』『Sweets+』の4つを重点商品カテゴリーと位置づけ、積極的な商品開発や売り場づくりの強化に取り組んでおります。



新ブランド『あじわい Famima Café』が 累計3,000万本突破

2009年4月より、第4の重点商品カテゴリーとして発売を開始したオリジナルチルド飲料(※)ブランド『あじわい Famima Café』。「素材そのもののおいしさやリアルな食感をあじわうごとにリラックス感が得られる、飲む嗜好品」というコンセプトが支持され、発売開始から5カ月で累計販売本数3,000万本を突破いたしました。

※物流から販売まで、常時3℃～8℃の温度帯で管理する飲料を指します。



三ツ星パスタ



『三ツ星パスタ』は、「麺のおいしさ」「本場素材の味覚」「選ぶ楽しさのあるメニュー」というコンセプトで開発されたオリジナルパスタブランドです。

できたてファミマキッチン



『できたてファミマキッチン』は、地域ごとに異なる具材と味わい深いつゆが決め手の「つゆだくおでん」、素材にこだわった「中華まん」、大人気の「フライドフード」等を取り揃えたファスト・フードのブランドです。

Sweets+



『Sweets+』は、「味」「見た目」「食感」「香り」にこだわったオリジナルスイーツブランドです。



生産者の“思い”も込めて地域ごとの味を開発

ファミリーマートでは、お客さまの多様なニーズに対応するため、地産地消や地域のニーズに合わせた商品開発に取り組む「リージョナルマーケティング」を展開しております。それぞれの地域のお客さまにころから満足していただける商品をお届けしてまいります。

ファミリーマートでは、それぞれの地域の味の嗜好を探り、それを踏まえて商品を開発していくことを徹底し、地域のニーズに応えた商品開発を進めてまいりました。「地産で地食へ」をキャッチフレーズに、それぞれの地域の優れた食材を使った商品を、その地域のお客さまに安心しておいしく召し上がっていただけるよう積極的に地産地消を推進しております。



地産食材を使用した代表的な商品

関西地区限定

但馬の味どり 焼鳥重

鶏づくしの本格的焼鳥重

飼料・飼育にこだわった兵庫県産「但馬の味どり」を使用。もも肉の焼鳥、むね肉のつくねと鶏そぼろをのせました。

498円(税込)6月販売

ごぼうと人参を入れ
食感よく仕上げた鶏そぼろ



柔らかくて
ジューシーな
もも肉の焼鳥

山芋や玉子だしを入れた
ふんわり仕立ての鶏つくね

東北地区限定

手巻寿司 三陸産穴子
138円(税込)8月販売



三陸産の上質な脂が乗った穴子を使用したお寿司です。

北陸地区限定

昇竜舞茸の
和風パスタ
380円(税込)8月販売



大野醤油を使用し、大きな舞茸をたっぷりとした食感と風味の良い和風パスタです。

関東地区限定

群馬県産鶏使用
デミチキンカツ弁当
450円(税込)8月販売
※北関東・静岡限定



群馬県榛名の若鶏を使用してお手頃価格のボリューム弁当です。

中国・四国地区限定

奥出雲ファーム豚とんかつ弁当
(中国地区)／四万十ポーク
とんかつ弁当(四国地区)
498円(税込)7月販売



肉本来の旨みを楽しめる地元ブランド豚を使用しています。

中部地区限定

西尾抹茶のスイーツ
(わらびもち入り)
220円(税込)8月販売



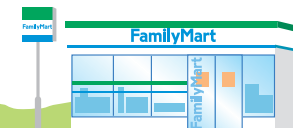
モチモチのわらびもちに黒蜜ソースと西尾抹茶のムースを合わせたこだわりのスイーツです。

九州地区限定

直巻 有明産海苔の
佃煮おむすび
100円(税込)9月販売



有明海の手巻を中具・巻海苔に使用し、海苔本来の香り・食感・旨みをお楽しみいただけます。



お客さま満足度を高める便利なサービス

ファミリーマートはお客さま満足度の向上を目指し、2009年10月からファミマTカード・Tポイントサービスをさらに充実させるため、お得意さまへの優遇制度を導入いたしました。



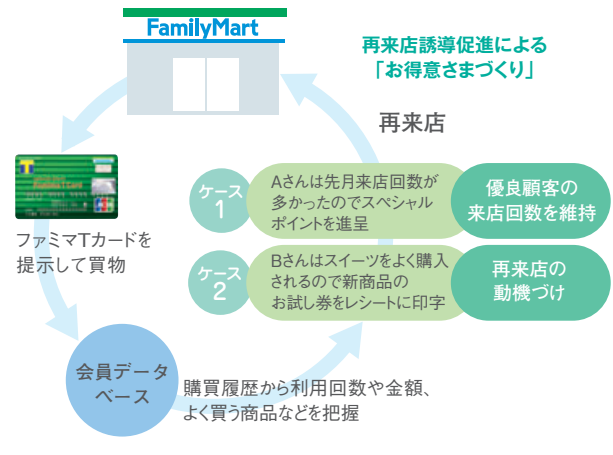
ファミマTカード会員数が235万人を突破

「ファミマTカード」は、入会金・年会費が無料で、ファミリーマートでの会員限定割引や特典が受けられるほか、TSUTAYAをはじめとする異業種店舗で利用できる共通ポイント制度「Tポイント」機能やクレジット機能などを搭載した生活シーンに密着した便利なカードです。2009年8月には会員数が235万人を超えました。

ロイヤルカスタマー優遇システムを導入

ファミマTカードを提示して商品を購入していただくことでさまざまな情報を把握することができます。これらの情報を活用することで、会員ごとにより適した販売促進策を可能とする「ロイヤルカスタマー優遇システム」を導入いたしました。これにより、お客さまの再来店誘導を促進し、お得意さまを増やしてまいります。

ロイヤルカスタマー優遇システム<例>



ケース1 対象者ごとにポイント付与率を変動

ご利用の多い会員限定で「ショッピングポイント2倍」などの設定が可能となります。ポイントを活用した販売促進策の幅を広げます。

ケース2 対象者ごとにさまざまなクーポンを配布

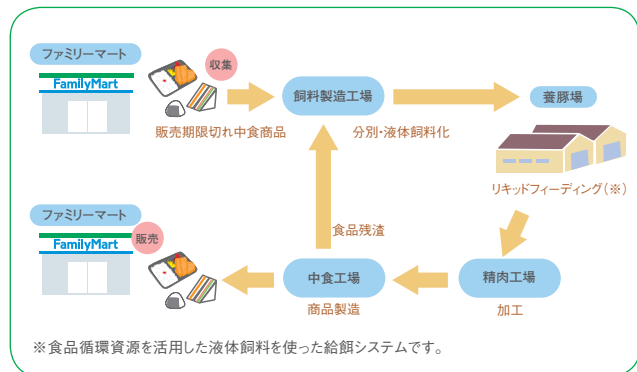
男性会員にはお弁当の割引券を、女性会員にはスイーツの割引券を、ご利用の多い会員には特別割引券を配布するなど、個々の会員のニーズに合ったクーポンを発行することで、お客さま満足度の向上をはかります。

社会貢献・環境活動

「ファミリーマートらしさ」を念頭において環境に配慮した事業活動を行うとともに、全国の店舗を通して地域社会への貢献活動に取り組んでおります。

効率的な食品リサイクル・ループの取組みを開始

ファミリーマートは、2008年4月より東京7区内の約120店舗と中食メーカー8工場から出る食品循環資源を回収して液体飼料化リサイクルに取り組んでまいりました。2009年3月に食品リサイクル法の「再生利用事業計画」の認定を受けたことで、同年5月には行政区域を越えて食品循環資源を回収することが可能になり、効率化がはかられました。液体飼料で飼育した豚を弁当などの中食商品に使用することで、「食品循環資源→液体飼料化→飼育→製造・加工→店舗による商品販売→食品循環資源→液体飼料化…」のリサイクル・ループを完成させました。



地球温暖化対策の一環としてグリーン電力を導入

2009年6月から地球温暖化対策の一環として、本社受付スペースで消費される電力の1年分について、水力発電で生み出されたグリーン電力(※1)を使用いたします。今回のグリーン電力の導入により、約6.1t(※2)のCO₂が削減される見込みです。

※1 太陽光、水力、風力、バイオマスなど環境負荷の少ない自然エネルギーから生み出された電力を指します。

※2 東京電力の排出係数0.339kg-CO₂/kWhを使用して算出しております。

グリーン電力証書

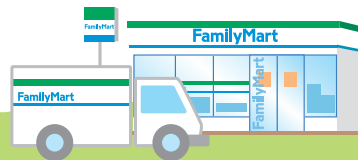
※当証書は水力発電施設で生み出されたグリーン電力を使用していることを証明するものです。



ファミリーマートのさまざまな社会貢献・環境活動

ファミリーマートは、このほかにもさまざまな社会貢献・環境活動に積極的に取り組んでおります。詳細については、「社会・環境報告書2009」に掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.family.co.jp/company/eco/report/>



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (2009年8月31日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年2月28日現在)	科 目	当第2四半期連結会計期間末 (2009年8月31日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2009年2月28日現在)
【 資 産 の 部 】			【 負 債 の 部 】		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	91,149	99,894	支払手形及び買掛金	69,935	102,010
加盟店貸勘定	7,682	16,550	加盟店借勘定	4,902	1,020
有価証券	22,107	36,601	未払金	16,314	17,849
商品	7,238	7,017	未払法人税等	8,241	6,918
貯蔵品	347	449	預り金	54,153	49,075
未収入金	21,332	21,154	その他	6,875	6,149
その他	26,347	22,942	流動負債合計	160,422	183,024
貸倒引当金	△ 258	△ 204	固定負債		
流動資産合計	175,946	204,406	退職給付引当金	5,674	5,457
固定資産			役員退職慰労引当金	479	597
有形固定資産			長期預り敷金保証金	9,937	9,746
建物及び構築物(純額)	27,669	26,946	その他	6,328	1,769
工具、器具及び備品(純額)	12,092	7,757	固定負債合計	22,420	17,571
土地	14,592	11,666	負債合計	182,842	200,596
その他(純額)	2,234	1,965	【 純 資 産 の 部 】		
有形固定資産合計	56,587	48,336	株主資本		
無形固定資産	8,810	8,940	資本金	16,658	16,658
投資その他の資産			資本剰余金	17,388	17,388
投資有価証券	21,320	16,352	利益剰余金	174,626	168,003
敷金及び保証金	97,985	94,986	自己株式	△ 7,668	△ 7,663
その他	28,893	26,700	株主資本合計	201,005	194,387
貸倒引当金	△ 1,522	△ 1,597	評価・換算差額等		
投資その他の資産合計	146,677	136,442	その他有価証券評価差額金	503	21
固定資産合計	212,076	193,719	為替換算調整勘定	△ 3,143	△ 3,653
資産合計	388,022	398,125	評価・換算差額等合計	△ 2,639	△ 3,631
			少数株主持分	6,814	6,774
			純資産合計	205,180	197,529
			負債純資産合計	388,022	398,125

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 （自2009年3月 1日 至2009年8月31日）	前第2四半期連結累計期間 （自2008年3月 1日 至2008年8月31日）
営業収入	94,644	94,234
加盟店からの収入	82,647	82,729
その他の営業収入	11,996	11,505
売上高	48,736	52,785
営業総収入	143,381	147,020
売上原価	33,989	36,869
営業総利益	109,392	110,150
販売費及び一般管理費	89,761	88,461
営業利益	19,631	21,689
営業外収益	1,499	1,683
営業外費用	181	255
経常利益	20,949	23,117
特別利益	136	100
特別損失	3,104	2,461
税金等調整前四半期純利益	17,981	20,756
法人税等	7,668	8,503
少数株主利益	449	506
四半期純利益	9,863	11,745

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

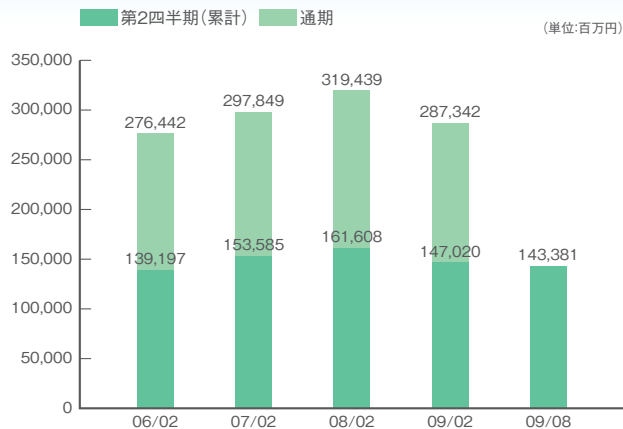
科 目	当第2四半期連結累計期間 （自2009年3月 1日 至2009年8月31日）	前第2四半期連結累計期間 （自2008年3月 1日 至2008年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,706	82,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,591	△18,301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,399	△2,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	535	△313
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△22,748	61,413
現金及び現金同等物の期首残高	135,887	98,844
現金及び現金同等物の四半期末残高	113,139	160,257

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入され、当第2四半期の財務情報と前年同期の財務情報とは会計基準や用語表現などが異なりますが、前年同期と比較しやすいよう、主要数値については「ご参考値」として掲載しております。その際、前年同期（中間期）については「前第2四半期」と記述しております。

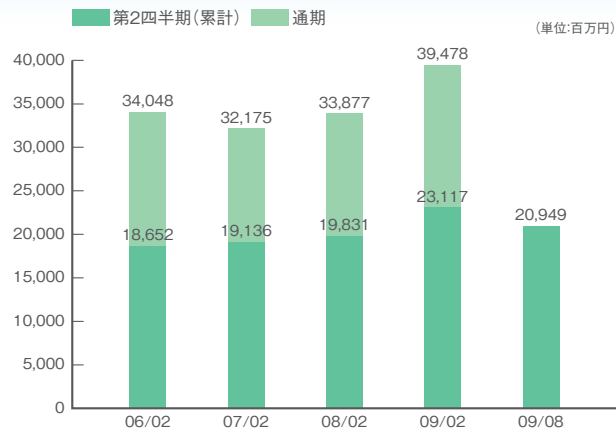


■営業総収入

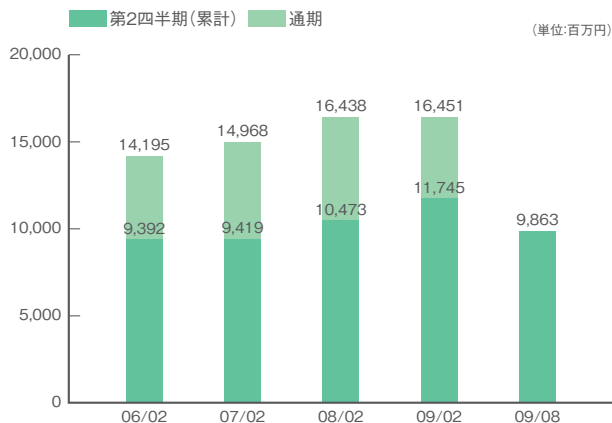


※2009年2月期から株式会社ファミマドットコム(連結子会社)において、「ソフトウェア取引」の収益の会計処理に関する実務上の取扱い(企業会計基準委員会 平成18年3月30日 実務対応報告第17号)の趣旨に鑑み、委託契約取引に係る売上高を従来の総額表示から純額表示に変更しております。

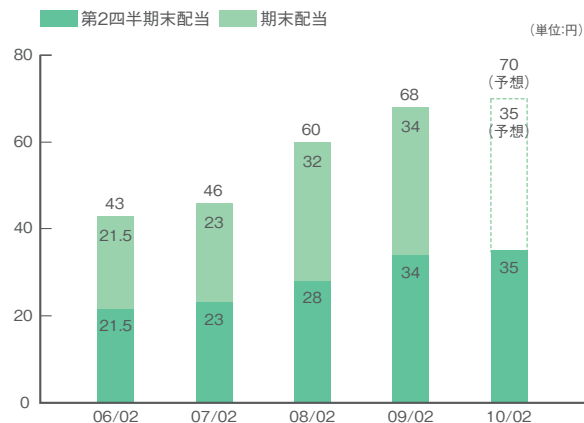
■経常利益



■四半期(当期)純利益



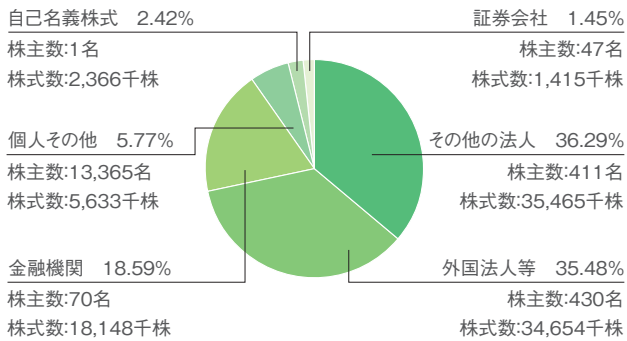
■1株当たり配当金



株式の状況

発行可能株式総数…………… 250,000,000株
発行済株式の総数…………… 97,683,133株
株主数…………… 14,324名

株式分布状況



大株主の状況

氏名または名称	持株数	出資比率
ファミリーコーポレーション株式会社	29,941千株	31.41%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,926千株	4.11%
MELLON BANK, N. A. TREATY CLIENT OMNIBUS	3,876千株	4.06%
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2,930千株	3.07%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,790千株	2.92%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,299千株	2.41%
株式会社みずほ銀行	2,085千株	2.18%
日本生命保険相互会社	1,964千株	2.06%
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	1,652千株	1.73%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	1,305千株	1.36%

※出資比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数(95,316,817株)を基準に算出しております。
※なお、ファミリーコーポレーション株式会社は2009年9月28日に同社が所有する当社全株式を売却したため、
主要株主である筆頭株主ではなくなりました。また、売却先である伊藤忠商事株式会社は新たに主要株主である筆頭株主となりました。

商号

株式会社ファミリーマート

本店所在地

〒170-6017
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号

設立年月日

1981年9月1日

資本金

166億58百万円

従業員数

3,201名

国内エリア
フランチャイザー

株式会社北海道ファミリーマート
株式会社南九州ファミリーマート
株式会社沖縄ファミリーマート

海外エリア
フランチャイザー

Siam FamilyMart Co., Ltd.(タイ王国)
全家便利商店股份有限公司(台湾)
FAMIMA CORPORATION(アメリカ合衆国)
BOKWANG FAMILYMART CO., LTD.(大韓民国)
上海福満家便利有限公司(中華人民共和国)
広州市福満家便利店有限公司(中華人民共和国)
蘇州福満家便利店有限公司(中華人民共和国)

役員

代表取締役社長	上田 準二	常務執行役員	潘 糸数	進丁 剛一
専務取締役 専務執行役員	植田 四三郎 播磨 眞一郎 横田 孝行	上席執行役員	上野 和成 伊藤 勝夫 植杉 正孝 岩切 公愛	
常務取締役 常務執行役員	井上 史郎 関 正綱 小部 泰博 宮本 芳樹	執行役員	鈴木 久 藤森 正美 森田 満次 木暮 剛彦 杉浦 正憲 市川 透 牛丸 重幸 中平 義人 青木 実 石黒 正治 北木 繁久 益子 正吉 丸山 直美	
取締役 常務執行役員	加藤 利夫 高田 基生 小坂 雅章 和田 昭則			
常勤監査役	西岡 登 浅野 正裕 高橋 商太			
監査役	遠藤 隆			



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日および8月31日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.family.co.jp/ 東京証券取引所(第一部) 100株
上場証券取引所	東京証券取引所(第一部)
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-176-417 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
(郵便物送付先)	
(電話照会先)	
(ホームページURL)	

株式に関するお手続きについて

単元未満株式の買取・買増請求、住所変更等のお手続きにつきましては、以下のいずれかにご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されている株主さま】
.....当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主さま】
.....株券電子化(施行日:2009年1月5日)により、住友信託銀行株式会社に開設された口座(特別口座)に株式が記録されておりますので、上記の電話照会先にご連絡ください。

ホームページの紹介

Click!

投資家情報

ココをクリック!



トップページ



投資家情報ページ

IRメール配信サービス

最新のIR情報をお知らせするIRメール配信サービスを実施しております。

個人投資家の皆様へ

当社を知るための各種情報に簡単にアクセスできるよう、わかりやすく分類して掲載しております。

<http://www.family.co.jp/>

ホームページでは、商品情報のほか、ニュースリリース、社会貢献・環境活動、投資家情報など当社に関する各種情報を公開しております。また、お子さまにもわかりやすいコンテンツもご用意しておりますので、是非ご覧ください。



食の安全・安心のためのこだわりを公開しております。

http://www.family.co.jp/fun/factory_tour/index.html

